

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立瑞江第二中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和8年度の目標	65.0%	60.0%
令和7年度の目標	64.0%	55.0%
令和6年度の結果	63.1%	52.8%
令和5年度の結果	56.8%	58.4%

令和6年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第2学年	58.4%	61.0%	72.3%
第1学年	53.2%	52.4%	57.7%



目標達成に向けた取組

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・四人組グループワークを全教科の授業で取り入れ、主体的・対話的で深い学びを充実する。 ・各教科や読書科でプレゼンテーションを取り入れた授業を、年度に1回以上行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後補習教室を、全生徒を対象に募集する。 ・ミライシードを活用した学力補充教室を、考査前1週間に必ず行う。 ・夏季学力補充教室を全生徒に募集し、学期の復習を中心に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習ノートの取組を、家庭と協力して全学年で実施する。 ・学級委員の活動として「家庭学習展示会」を行い、良い家庭学習を行っている生徒のノートを紹介する。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒の学習上の特徴を集約・共有し、個に応じた指導を充実する。 ・プレゼンテーションでは、生徒の特性に応じた発表形式を選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「C・D層」の生徒には個別に声掛けなどを行う。 ・夏季学力補充教室では、参加希望生徒から「C・D」層を優先的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出を毎日記録し、3日連続で忘れた生徒や内容が不十分な生徒には、声掛けを行う。また、必要に応じて家庭への連絡を行う。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」で肯定的回答87.8% 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査 各教科のC・D層の割合が、国語は全国が53.7%に対し、本校36.5%で17.2%低い。また、数学は全国59.1%に対し、本校54.4%で4.7%低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケート「家庭学習ノート等を活用して、家庭学習の習慣がついていますか。」で肯定的回答85%以上